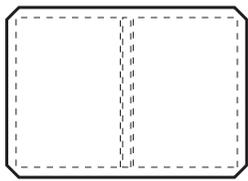


手作りアルバム製本キット 2L・縦

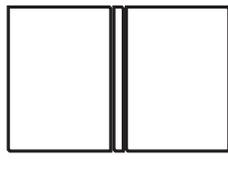
この度は、サンワサプライのインクジェット用手作りアルバム製本キットをご購入いただき、誠にありがとうございます。この製品はインクジェットプリンタで表紙、中面を印刷して、オリジナルアルバムや絵本などを作ることのできるキットです。この製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。

準備するもの

アルバム製本キット一式(キットに入っているもの)



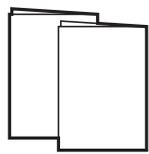
インクジェット用
表紙用コットン布シール
(A4サイズ)×1シート



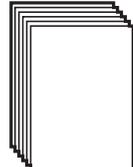
表紙用
型台紙(表・背・裏)×1組



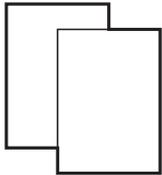
製本のり×1個



見返し×2シート

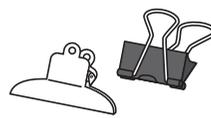


本紙:2L判用紙×20枚
(40ページ分)

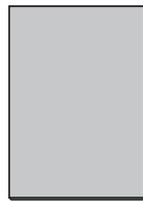


テストプリント紙、
取扱説明書×各1部

ご用意いただくもの



クリップ 2~3個
※のりづけのときに必要です。



堅めの台紙(A4サイズ)
※表紙を印刷するときに
必要です。
(背面給紙のプリンタ用)

使用上の注意

- 対応プリンタ、使用方法など、ここに記載されている以外の方法でご使用になられた場合に生じた不具合について、弊社では一切の責を負いかねます。予めご了承ください。
- 印刷面をこすったり、傷をつけたり、折り曲げたりしないでください。
- プリンタの種類、プリンタの印刷モード、インク、ドライバソフトなどにより画像色・画像の精細さが変わることがあります。
- 用紙は必要なだけ取り出し、開封後はなるべく早めにお使いください。
- コピー機、レーザープリンタ、ドットプリンタ、熱転写プリンタなどインクジェットプリンタ以外では使用できません。

保管上の注意

- 使用しない用紙は必ずビニール袋に入れて気温40℃以下、湿度80%以下の場所で重量がかからないようにして、水平にして保管してください。外で長い時間放置されますと、反りが発生したりする可能性があります。
- 高温、高湿、直射日光、蛍光灯の光など、また空気の流れ(空調など)のある場所を避けて保管してください。
- 閉め切った車内やトランクなど、高温になる条件での保管は避けてください。
- 開封後はなるべく早めにお使いください。
- 幼児の手の届かない所に保管してください。
- 素材をなめたり、口に入れたりしないでください。

使用方法

デザインをして、印刷、製本してアルバム本に仕上げます。

1 表紙のデザイン・印刷をします。

■ デザインする。

「用紙選択」の画面で「A4」を選んでください。
以下のテンプレートなどを使って、表・背・裏をデザインをします。



●対応ソフト:ラベルマイティをお持ちの方

「用紙選択」の画面で表紙:「サンワサプライ JP-ALB1N(表紙)またはJP-ALB1、JP-ALB3(表紙)」を選んでください。収録されていない場合は、「Label Mighty 用紙情報ダウンロード」(<http://paperm.jp/support/label/>)よりダウンロードしてください。

●Wordをお持ちの方

用紙専用サイト「ペーパーミュージアム」(<http://paperm.jp/>)にて無償で使えるWordテンプレートがダウンロードできます。
アルバムのテンプレートアドレス:http://paperm.jp/sozai/005_1/
詳しくは、WEBサイトをご覧ください。なお、お使いのパソコンにWordがインストールされていないと、このテンプレートはお使いいただけません。ご注意ください。

●一太郎、illustratorをお持ちの方

「テンプレートBANK」(<http://www.templatebank.com/bank/sanwa.htm>)よりテンプレートがダウンロードできます。

■ 印刷する。

1)用紙サイズが「A4サイズ」になっているか確認します。

2)印刷する前に付属のテストプリント紙でテスト印刷をして印刷位置の確認します。

※テストプリント紙は必要に応じてコピーしてお使いください。
※プリンタの使用頻度・使用環境などにより、まれにテストプリント紙で位置を合わせても本番の用紙で多少ズレが生じることがあります。その際は、プリンタ内部の掃除をお試しください。また、多少印刷がズレても良いよう、用紙の端ギリギリのデザインをされないことをおすすめします。

3)布面が表面で印刷面となります。印刷面がプリンタのノズル側にくるように用紙をセットし、印刷をします。

※この用紙は手差しで1枚1枚給紙してください。背面給紙のプリンタの場合は、給紙されやすいよう、用紙の後ろにA4サイズの堅めの台紙を置いてください。

※コットン布シールの裏面が部分的にはがれたり、用紙に反りがあると給紙不良の原因になります。万一のはがれている部分があるときは手で押さえてはがれを直して印刷してください。反りが見られるときは用紙を軽く曲げるか、用紙の上から重しをして反りをなくしてください。(あまりひどく折り曲げないでください。また、このとき印刷面が波打ったり汚れたり、裏面のシールがはがれたりしないようお気を付けてください)

※使用するプリンタの機種によりわずかに濃淡の差がでることがあります。その場合は、各機種の取扱説明書に従い濃度調節を行ってください。また、プリンタ各種に応じてカラーバランス・ガンマ補正・各色の濃度を調節してください。

※印刷後は、印刷面にふれないようにしてインクを充分乾燥させてください。(20分以上)

※黒や濃い色を多く使って印刷するとき、プリンタによってはローラーのあとがつくことがあります。

〈おすすめプリンタ〉

エプソン EP・PX・PM・CCシリーズ、MJシリーズ
キヤノン PIXUS MG・MX・iPシリーズ

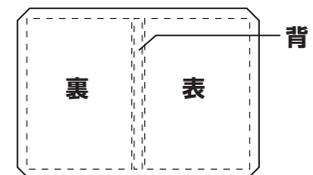
※顔料系インクのプリンタにも対応していますが、乾燥が不十分な場合、アルバムなどとして保存中にページ同士がこすれ、色移り・汚れが生じる恐れがあります。ご注意ください。

※前面給紙しかできないプリンタでは、厚みなど用紙の構造上の問題で、使用できない場合があります。(給紙不良が起こる可能性があります)

〈用紙設定・モード設定(例)〉

印刷の際には下記のモード設定でご使用いただくと良好な画像を得ることができます。

プリンタ	用紙設定	印刷モード
エプソン	EPSONスーパーファイン紙	きれい
キヤノン	高品位専用紙	きれい

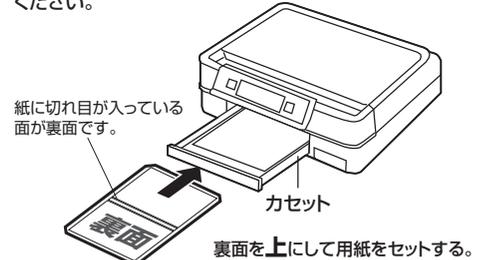


左開きのとき、右開きのときとは表裏が逆になります。

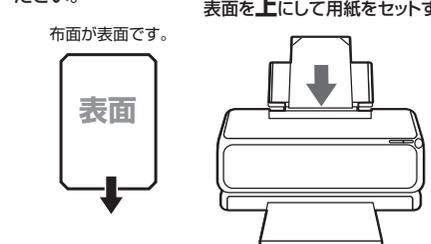
用紙の給紙の仕方

プリンタが前面給紙か背面給紙かによって用紙のセットの仕方が異なりますので、ご注意ください。

〈前面給紙〉※厚みなど用紙の構造上の問題で使用できない場合があります。前面給紙プリンタでは、裏面を上にして用紙をセットしてください。



〈背面給紙〉背面給紙のできるプリンタでは、背面給紙を選択してください。表面を上にして用紙をセットする。



※給紙されやすいように用紙の後ろにA4サイズの堅めの台紙を置いてください。

2 本紙(2Lサイズの両面印刷用紙)のデザイン・印刷をします。

■デザインする。

対応ソフトまたはダウンロードしたテンプレートを使って、デザインをします。その後、本紙に印刷します。10ページ分見開きでデザインできるWordテンプレートをご用意しました。見開きでデザインをしたい方は、このテンプレートを使ってください。

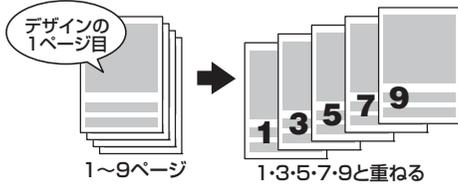
アルバムのテンプレートアドレス：http://paperm.jp/sozai/005_1/

※10ページ分のテンプレートなので10ページずつ、40ページ分のデザインを作成してください。

■印刷する。

表裏を間違えないよう、用紙を奇数ページのみ、偶数ページのみ、まとめて印刷します。

1)「デザインしたとき」の奇数ページを右下の用紙設定に従い印刷します。



同様に11~20、21~30、31~40ページまで印刷します。

2)十分乾燥させたら、ひっくり返して「デザインしたとき」の偶数ページを印刷します。上下方向・裏表を間違えないよう用紙をセットしてください。



デザインするときのページ設定はこちらのページ数で

印刷しない	1 ページ目	2 ページ目	3 ページ目	4 ページ目	5 ページ目	6 ページ目	7 ページ目	8 ページ目	9 ページ目	10 ページ目
-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------

印刷するときのページ設定はこちらのページ数で(プリンタ設定時に入力するページ数)

印刷しない	1 ページ目	2 ページ目	3 ページ目	4 ページ目	5 ページ目	6 ページ目	7 ページ目	8 ページ目	9 ページ目	10 ページ目	11 ページ目
-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	------------

〈用紙設定・モード設定(例)〉

印刷の際には下記のモード設定でご利用いただくと良好な画像を得ることができます。

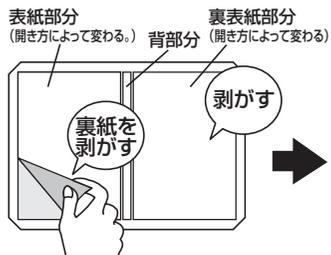
プリンタ	つやあり半光沢タイプ(JP-ALB1N)※		つやなしマットタイプ(JP-ALB3)	
	用紙設定	印刷モード	用紙設定	印刷モード
エプソン	EPSON写真用紙	きれい	EPSONスーパーファイン用紙 / フォトマット紙	標準 / きれい
キヤノン	写真用紙 光沢	きれい	高品位専用紙 / マットフォトペーパー	きれい
hp・ブラザー他	-	-	hp専用紙・インクジェット紙	ベスト・高画質

※顔料系インクを使用した場合、黒など濃度の高い色のベタ部分で油状の光沢感が出る場合があります。また、印刷直後に印刷した部分(特に黒など色の濃い部分)をさわると、印刷内容がこすれたりはがれたりする恐れがあります。十分に乾燥させてください。
機種によっては印字部分の光沢感が若干損なわれることがあります。
※フォトブラックインクとマットブラックインクの切替えができる機種は、フォトブラックインクを使用してください。マットブラックインクは使用できません。

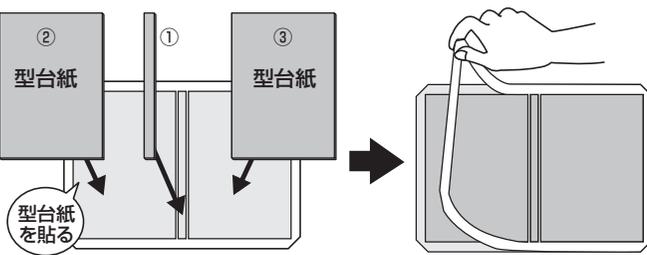
ご注意 印刷後は、印刷面にふれないようにして、重ねず、広げて充分乾燥させてください。(半日以上)

3 表紙を作ります。

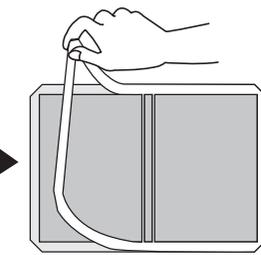
1)で印刷したコットン布シールが十分に乾燥したら、「型台紙」を貼りつけて表紙を作ります。



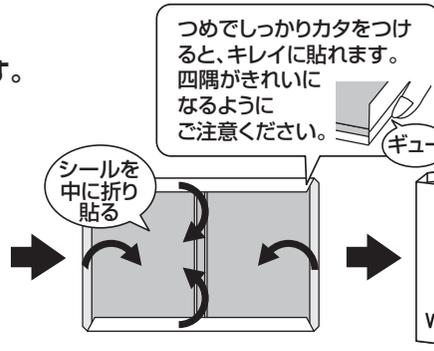
1)コットン布シールを裏返し、表紙・背・裏表紙の3ヶ所の裏紙をはがし、型台紙を貼ります。



2)順番に型台紙を貼ってください。



3)型台紙が貼れたら、周りの裏紙をすべてはがします。



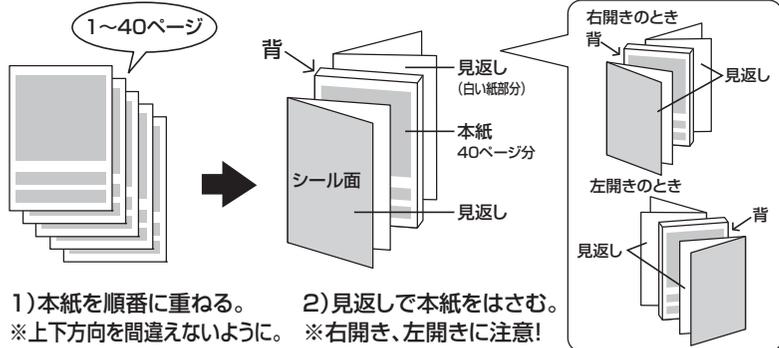
4)四辺をコットン布シールでまきます。



5)表紙の出来上がり!

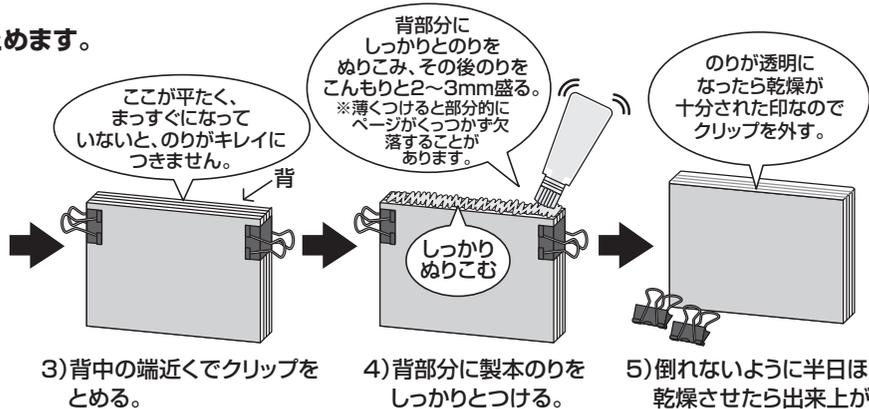
4 本紙を重ねて製本します。

印刷した本紙を40ページ分順番に重ね、背部分に製本のりをつけまとめます。



1)本紙を順番に重ねる。
※上下方向を間違えないように。

2)見返しで本紙をはさむ。
※右開き、左開きに注意!



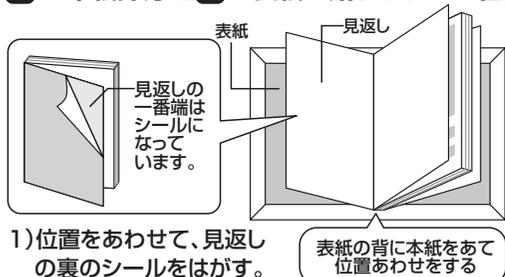
3)背中の端近くでクリップをとめる。

4)背部分に製本のりをしっかりとつける。

5)倒れないように半日ほど乾燥させたら出来上がり。

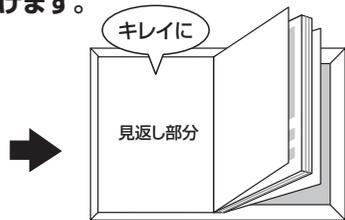
5 表紙と本紙をあわせて最終仕上げをします。

4)の本紙部分を3)の表紙に貼りあわせて仕上げます。

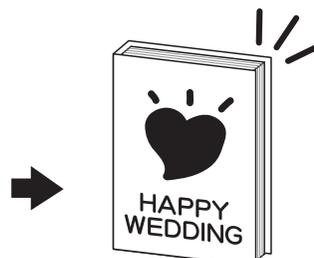


1)位置をあわせて、見返しの裏のシールをはがす。

表紙の背に本紙をあて位置あわせをする



2)見返しをズレないように表紙の裏にキレイに貼りあわせる。逆側の見返しも貼りあわせる。



3)出来上がり。

開封後はお早めにお使いください。

※万一製造上の不備がございました場合には、同数の新しい製品とお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
※本製品は光や保管条件によって変色、退色いたしますが、この点についてのお取り替え、その他の補償はご容赦ください。
※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
記載の社名及び製品名は一般に各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社
<http://www.sanwa.co.jp/>
BF/BA/MIME